

GN-1565-1

NIM TRIGGER MODULE

ニム トリガー モジュール

概説

この NIM モジュールは素粒子・原子核実験等に使用されるさまざまな論理回路を自由に構成するためのユニバーサルな論理回路モジュールです。

アルテラ社の FPGA(EP4CE30)を搭載しており、トリガー回路・データ読み出し回路・スケアラ回路等さまざまな論理回路として動作させることができます。開発したロジックは内蔵の ROM に書き込んでおけば電源を切っても同じロジックを保持することができます。原子核実験、素粒子実験を行なっている人にとって論理回路設計の入門用また、複雑なモジュールを作るための試験用、HDL による回路設計の入門に最適です。

特徴

入力信号 : 16 チャンネル NIM ファーストネガティブ信号
入力インピーダンス 50
レモ型同軸コネクタ

出力信号 : 16 チャンネル NIM ファーストネガティブ信号
出力インピーダンス 50Ω
レモ型同軸コネクタ

RJ45・Dsub : 8 ポートの LVDS 入出力。

各ポートは 2 入力・2 出力

Dsub は SpaceWire 規格のピン配置に順ずる。

JTAG 10 ピンヘッダーピン

FPGA へのダウンロードは基板上の

JTAG コネクタを経由して行います。

内蔵クロック 25 MHz

形状 : NIM 1 幅モジュール

電源 : +6V 系

動作環境 : 動作温度: 0~40 保存温度: -35~85

最大湿度: 80% (結露しないこと)

